

平成30年度広島県高等学校新人バドミントン大会
兼 第47回全国高等学校選抜バドミントン大会広島県予選会 要項

- 主 催 広島県高等学校体育連盟・広島県教育委員会
主 管 広島県高等学校体育連盟バドミントン競技専門部
1. 期 日 学校対抗戦 平成30年11月10日(土)・11日(日)
個人対抗戦 平成30年11月17日(土)・18日(日)
2. 会 場 学校対抗戦 男女とも びんご運動公園体育館 尾道市栗原町997
個人対抗戦 男子 市立福山高等学校 福山市赤坂町赤坂910番地
女子 福山葦陽高等学校 福山市久松台三丁目1番1号
3. 種 目 学校対抗戦 および 個人対抗戦 男女各単複
4. 競技規程 平成30年度(公財)日本バドミントン協会競技規則および公認審判員規程に従って行う。
5. 参加資格 (1) 選手は広島県高等学校体育連盟規約第5条に規定する学校に所属する生徒で、本競技実施要項により大会の参加資格を得た者に限る。
(2) 年齢は平成12年4月2日以降に生まれた者とする。ただし出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
(3) チームの編成について、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
(4) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会の参加を認める。
(5) 転校・転籍後6ヶ月未満の者は、参加を認めない(外国人留学生もこれに準じる)。ただし、一家転住などやむを得ない場合は、県高体連会長の許可があればこの限りではない。
(6) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
(7) 参加資格の特例による参加については、広島県高等学校総合体育大会開催基準要項の通りとする。
(8) 監督・コーチ・選手・マネージャーは、平成30年度(公財)日本バドミントン協会に会員登録を完了した者とする。
6. 参加制限 (1) 学校対抗戦は各校男女各1チーム、監督1名・コーチ1名・選手5~7名、マネージャー1名以内とする。ただし、マネージャーは選手を兼ねられない。
(2) 外国人留学生の選手は2名以内とし、1対抗戦の出場は、その人数(1名または2名)にかかわらず1試合とする。
(3) 個人対抗戦については各地区で選ばれた者とし、各地区の割り当ては次の通りとする。
- | | | | | | | | | | |
|----|-------|-------|--------|--------|------|---|---|---|---|
| | 呉 | 尾 | 三 | 広 | 島 | 福 | 山 | 三 | 次 |
| 男子 | 6複10単 | 6複10単 | 32複40単 | 16複24単 | 2複4単 | | | | |
| 女子 | 6複10単 | 6複10単 | 32複40単 | 16複24単 | 2複4単 | | | | |
7. 使用 シャトル 平成30年度(公財)日本バドミントン協会第一種検定合格球を使用する。シャトルは、学校対抗戦では3個/1校、個人対抗戦では、単は1個/1人、複は1個/1組を各校持ち寄りとし、受付時に本部に提出する。なお、学校対抗戦1試合につき5個、個人対抗戦1試合につき2個を本部で用意するが、それ以上は双方の持ち寄りとする。
8. 試合方法 (1) トーナメント方式による。学校対抗戦のみ3位決定戦を行う。個人対抗戦の3位決定戦は行わないが、単複ともベスト8に入った選手のうちから中国大会代表決定戦を行う。
(2) 学校対抗戦は2複3単とし、1複-2複-1単-2単-3単の順で行い、3マッチ先取したチームの勝ちとする。ただし、単複は兼ねられるが、1単のみ他と兼ねることはできない。
9. 日 程 学校対抗戦 第1日の試合数は、監督会議で決定する。
個人対抗戦 第1日 ダブルスより始め、途中からシングルスも行う。
第2日 残り試合全部
開始時刻は学校対抗戦・個人対抗戦ともに監督会議で決定する。
10. 参加申込 学校対抗戦については、所定の用紙に必要事項を記入し、各学校単位で申し込む。
個人対抗戦については、各地区委員長が所定の一覧表にて一括して申し込む。
(1) 申 込 先 〒732-0015 広島市東区戸坂城山町1-3 TEL 082-229-0111
広島城北高等学校 相良 展広 宛
(2) 申込期限 **平成30年10月15日(月) 必着 変更になりました。**
11. 組み合わせ 監督会議において決定する。
12. 監督会議 (1) 日 時 平成30年10月26日(金) 13:30~
(2) 場 所 びんご運動公園 陸上競技場 会議室(尾道市栗原町997 TEL 0848-48-5446)
13. そ の 他 (1) 選手は背面に学校・姓を黒または紺色で明記すること。
(2) 会場の使用規定を遵守すること。
特に、開場時刻までは建物内に立ち入らないこと。
(3) 本大会の学校対抗戦の1位・2位および、個人対抗戦単複のベスト4および代表決定戦に勝利した1名(1組)が中国大会へ出場できる。
(4) 前年度優勝校は、優勝旗・楯を返還すること。
(5) 審判は敗者主審制です。1日目の最後に敗者になった場合には、2日目に主審があります。

